

# 国見公民館だより

福井市鮎川町 133-1-3 TEL/FAX 88-2004 E-mail: [kunimi-k@mx1.fctv.ne.jp](mailto:kunimi-k@mx1.fctv.ne.jp)

令和3年7月20日発行 第2号

- ❖ 6月5日(土)「国見小学生(保護者)ヒマワリ種まき」 約15名参加
- ❖ 6月3日(木)「保育園園児たち ヒマワリ種まき」 約20名参加
- ❖ 鮎川町地域資源保全会と協力し、鮎川町の遊休農地にヒマワリの種をまき、播種機も体験しました。



- ❖ 6月26日(土)「国見小学生(保護者)コスモス種まき」 約15名参加
- ❖ 6月25日(金)「保育園園児たち コスモス種まき」 約20名参加



❖ すこやか学級開講式 6月8日(火) 国見公民館

本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため参加者を役員さん(正副会長、事務局、会計、監査)に限定した少人数で開催しました。

❖ 健康長寿事業 シルバー喫茶出前講座「防災教室」

6月23日(水)「白浜町集落センター」

「小丹生ふれあい会館」



6月24日(木)「国見町集落センター」

「鮎川会館」



青少年環境一斉点検

7月4日(日)午後、青少年育成福井市民会議国見支部による本年度の青少年環境一斉点検が実施されました。公民館での出発式の後、28名の参加者が町内別の班に分かれて、交通安全、防犯、防災の観点から、通学路や公園等を中心に危険箇所を点検しました。その結果、ガードレール破損や側溝蓋欠損等の9ヶ所が指摘されました。同支部では、それぞれの問題箇所の改善の為、県土木事務所、市役所等に改善を要望していきます。また併せて「かけ込み所」表示シールの貼付場所の確認も行いました。

一斉点検に参加をいただいた皆様、ご協力ありがとうございました。



福井市の不死鳥のねがい(市民憲章)推進協議会の本年度総会が6月23日、福井市木ごころ文化ホールで開かれました。総会では「令和2年度不死鳥のねがい(福井市民憲章)優良実践者表彰式」を行いました=写真。親切奉仕、文化教養など憲章に沿った活動に貢献した14人、6団体が選ばれました。国見地区からは、長年にわたり地区の郷土美化、安全安心なまちづくりに多大な貢献をしている林 和真三さんが表彰されました。

### 公民館や地区団体の活動状況や予定

7月24日(土)に実施を予定しておりました「国見地区夏祭り」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止します。

#### 夏休みワイワイ広場 (国見小学校児童対象)

開催日時 5日間予定

- 7月29日(木) 13:30~15:30「映画会」
- 8月4日(水) 13:30~15:30「こども電気教室」
- 8月11日(水) 13:30~15:30「星空を知ろう」
- 8月17日(火) 13:30~15:30「ミニ夏祭り」
- 8月26日(木) 13:30~15:50「国見の海のお話と映画会」

8月8日(日)「化石採集体験」

9月25日(土)~26日(日)

「源平ゆかりの地サミット~in国見」

各イベントの詳細は公民館のホームページをご覧ください。

参加を希望される方は公民館までご連絡ください。

### 津波災害警戒区域の指定についての説明会

新たな津波災害警戒区域とは

6月20日(日)午後1時から、福井県土木部砂防防災課、福井市市民生活部危機管理課の担当者が国見地区の自治会長と公民館長に対して、新たな津波災害警戒区域の指定内容を説明する打合せ会議が公民館でありました。

令和2年10月に県が最新の想定技術にて指定した新たな警戒区域は、浸水深に建築物等でのせき上げ高を加えた基準水位という考え方とのことで、新しい津波ハザードマップを作成し直し、平成24年に作成されたハザードマップに比べて、現実的なものになったとのことです。鮎川町、白浜町、大丹生町については、指定された警戒区域はほぼ国道305号線より海側のみですが、小丹生町については集落のおよそ半分が警戒区域に指定されています。

このハザードマップは国見公民館でも縦覧できるようにしてあります。県と市は意見を募集しているとのことでした。

### 梅雨前線による大雨に伴う 土砂災害対応の避難所開設について

先般の降雨により、7月7日(水)に隣接する越廼地区と殿下地区に「高齢者等避難情報」が発令され、それぞれの公民館に避難所が開設され、数人の地区住民が公民館に避難しました。

国見地区にて避難所開設が必要と福井市長が判断した場合、市役所の危機管理課(または生涯学習課)から避難所となる国見公民館長に連絡(基本的には館長の携帯電話等へ)があることになっております。

避難所の開設や運営等は、原則として市職員が行うことになっていますが、災害時のため道路事情悪化等により市職員の到着が遅れることも想定されます。そのような場合は必要に応じて国見地区に対して協力や補助等の要請があります。具体的には、避難所で使用する防災資材の保管倉庫からの運搬や設置等の避難所開設の作業や避難が必要な住民の誘導等が想定されます。

国見地区には「国見地区自主防災組織連絡協議会」が組織されていて、消防団や防犯隊等の各種団体の代表が構成員となり、自治会連合会長が協議会長になっています。公民館はその事務局であることから、このような連絡や要請の窓口となります。市役所からの要請には、本協議会の構成員である各種団体の代表者等と力を合わせて対応することになります。

地区内の皆様方におかれましては、今回のような非常事態が想定される気象状況になった場合、上記のような対応があることを念頭に、万が一の場合に迅速な対応ができるよう、ご理解とご協力をお願いします。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報(避難情報等)
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 (必ず発令されるものではありません)
<警戒レベル4までに必ず避難!>			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示 (令和3年の災対法改正 以前の避難勧告の タイミングで発令)
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報

# 国見地区自主防災組織連絡協議会

## 本年度第1回目打合会議

6月25日(金)午後7時から、公民館にて国見地区自主防災組織連絡協議会の本年度の第1回目の会議が開催され、21名の構成員が出席しました。

この協議会は地区内の自治会、社会福祉協議会、消防団、防犯隊等の各種団体の代表者や民生委員等を構成員、自治会連合会長を協議会長、公民館長を事務局長とし、災害時の緊急対応を円滑に実施するため避難マニュアルの整備等に取り組んでいます。

年度当初の打合せとして、メンバーの顔合わせや、本年度の事業概要等を協議しました。本年度はコロナ感染症対策を盛り込んだ改正されたマニュアルによる避難所開設訓練も計画しています。今回から、市役所職員のうち国見地区の避難所対応職員として任命されている担当者、警察や消防の関係者も構成員に加えることになりました。

## 公民館長と語る会

「公民館長と語る会」を、6月25日(金)午後2時から第1回目、同26日(土)午後7時から第2回目として開催しました。20歳代から70歳代の10名の地区民と市役所の国見地区担当職員2名が参加しました。この「語る会」は一部の若者からの要望を基に開催したもので、公民館に対する要望や意見等を松井館長が聴取しました。

公民館活動全般については地区民への情報発信が不足しているという苦言もあり、公民館長としては、この「公民館だより」の発行回数を増やすとともにWEBやSNSを利用した方法も検討していくことが重要だと痛感しました。

過去2年間、検討委員が協議した「国見ビジョン2025(骨子)」については、今後もこの骨子を発展させ、具体化していきたいとの意見が多く、館長もその意見を重く受け止め、自治会連合会とも相談しながら、何らかの対応を検討していくこととなりました。「国見ビジョン2025(骨子)」は右記のとおりで、地区民の皆様にも内容についてご意見があれば公民館までお知らせください。今後の検討材料にします。

また、国見地区の小中学校再編問題の進捗状況について、ある参加者から質問がありました。語る会に参加していた市役所の地域担当職員の福岡峰一さん(おもてなし観光推進課)が後日教育委員会の担当課に連絡し現状を確認したところ、次のような説明があったとのことでした。

現在、越前海岸地域について、地区ごとの意見交換会を開催し、住民の意見を聞いている段階で、国見地区と越廼地区では、既に意見交換会が開催されました。

6月下旬に鷹巣地区で予定していましたがコロナの緊急事態宣言で急遽延期になりました。今のところは全地区から意見を聞くことを優先して進めています。

その後、再度意見を聞く場を設ける予定です。他市町のように統廃合を前提で話を進めているわけではないとのことでした。

## 国見地区ビジョン2025 骨子

### 1 策定の目的

5年後の国見地区を見据えて長期的な地域のビジョンを策定することで、地域の抱える課題などを共有し、今後の地域の在り方やまちづくりの方向性について、世代を超えて意見交換し参加者同士の交流を図る。

### 2 ビジョンの概要

国見地区に住んでいて感じること！(主な意見)

- ・昔にくらべて子どもも少なく、高齢者が増えている。人も減って空き家も心配。
- ・市内への交通が不便で、買い物が大変。
- ・地域の絆が強いけど、昔からの習慣とか地域行事に参加するメンバーが固定化している。
- ・小学校や中学校って存続できるかな
- ・地域の目玉(売り)って何？
- ・人口の減少が気になる…

どんな国見になってほしい？(主な意見)

- ・地域の人が集まって、まちづくりを議論する(地域づくりミーティング)場が欲しい
- ・若い世代が集まる魅力的な場所が欲しい。子育て世代が暮らしやすい大らかなコミュニティを作りたい。
- ・小・中学校や地元の店が残ってほしい。空き家を活用したい。
- ・夏は海水浴があるけど、他の季節にも集客できる魅力的なものがあるといい。

### 3 ビジョンイメージ

#### ① 移住・定住

- ・SNSを活用して地区の魅力を発信
- ・空き家情報や職業体験談などを発信

#### ② 教育

- ・地元事業者への職業体験
- ・子どもと地域の人が交流できるスポーツ交流会などを実施
- ・子どもと地域の人と一緒に町内の清掃活動を実施

#### ③ 空き家

- ・空き家のリストづくり
- ・移住相談室のような窓口を将来的につくる

#### ④ 生活の充実

- ・あじさいロードに花を植える
- ・大丹生の棚田など、地区内の四季ごとの魅力的なスポットを紹介

### 4 今後の展開

令和3年度から、ビジョンイメージに関して、具体的に何を実施していくかを決め、メンバーを絞りつつ実行に移していく。